

## 平成30年第6回柳川市教育委員会定例会議事録

### 1 開会及び閉会に関する事項

平成30年4月19日(木)

開会 午後1時30分

閉会 午後2時30分

### 2 出席委員の氏名

教育長職務代理者	江口 正基
委員	瀬戸口 京子
委員	田中 義隆
委員	田中 麻子

### 3 事務局等の出席者

教育長	沖 毅
教育部長	田尻 主範
首席指導官	橋本 秀博
主任指導主事	大向 智樹
学校教育課長	田中 勝裕
生涯学習課長	袖崎 朋洋
人権・同和教育推進室長	松永 浩一
図書館長	河野 富士美
記録者学校教育課長補佐	森 康貴

### 4 傍聴者

0人

### 5 教育長経過報告の要旨

平成30年3月19日(月)から平成30年4月19日(木)までの経過報告。

主な報告

- ・北原白秋生家記念財団理事会について
- ・おもてなしマラソン大会について
- ・トラック協会横断旗寄贈について
- ・健康づくり推進協議会について
- ・臨時教育委員会について
- ・交通安全協会ランドセルカバー、安全傘寄贈について

- ・ 県費負担教職員退職者辞令・感謝状伝達式について
- ・ 副市長・教育長退職辞令交付式・退任式について
- ・ 副市長・教育長辞令交付式・就任式について
- ・ 校長・教頭人事異動辞令伝達式について
- ・ 一般教職員転入者辞令伝達式及び新規採用職員赴任・宣誓式について
- ・ 流し雛まつりについて
- ・ 柳川市立小中学校校長会について
- ・ スポーツ推進委員委嘱状交付式について
- ・ 中学校入学式、小学校入学式について
- ・ 中山大藤まつり開会式について
- ・ 質問教室運営委員会について
- ・ 定例教育委員会について

## 6 議事の概要

教育長	<p>日程第4、その他報告事項を議題とします。</p> <p>各課より説明をお願いします。順番は、学校教育課、生涯学習課、図書館の順番をお願いします。</p>
首席指導官	<p>(学校教育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度柳川市立小中学校共通・独自実践の具体的構想について</li> </ul>
江口職務代理	<p>柳川市立小・中学校共通独自実践の具体構想の中の、教育研究所のプロジェクト事業推進として、定期考査問題の検討がありますが、これは中間・期末試験のことだと思いますが、全中学校同じ教科書を使っているの、1教科か2教科、全校同じ問題で試験を行うことは可能ですか。</p>
首席指導官	<p>全校同じ問題で試験を行うのは、不可能であると考えます。</p> <p>それは、教育課程の進み方が各校で異なりますし、また実態も異なるからです。</p> <p>統一的な共通問題としましては、業者テストのフクトのテストというのがあり、昔は実力テストと言っていましたが、これにより各学校の実態を把握しています。</p> <p>定期考査につきましては、やはり、各学校の教育課程の進み方や実態に即した問題を出しているのが特色であると考えています。</p> <p>このプロジェクトでやることは、知識的なことを中心とした問題か</p>



	<p>ら、論理的に思考して、判断して、解決していく道筋を、自分の言葉で導くような問題、学力Bと言いますが、思考力、判断力、表現力に竿を指すような問題作りについて目を向け、そのことにより、日頃の授業に繋げていけないかということでやっています。</p> <p>今回のプロジェクトは、6中学校が統一して同じ問題で試験を行いましょうということではありません。</p>
江口職務代理	<p>各学校、問題を抱えている学校もあると思いますので、期間を切って、中間試験などにおいて、同じ問題を使うことにより、各学校における授業の進捗状況や生徒の理解度などの実態を把握するために共通問題で実施するのかと思ったところでした。</p>
首席指導官	<p>現在、求められる入試の問題が随分変わってきています。</p> <p>昔は、記憶型で覚えたことを次々に回答したり、計算問題も文章問題を説くだけでよかったものが、今は、色々な資料を結びつけて回答を出していかなければならないというふうになってきており、各教科、ただ単に下から選びなさいというような選択肢の問題でなく、記述式にしたり、更に、回答して根拠を述べなさいというように変わってきております。</p> <p>そういう問題を出すには、それに合わせた授業をしなければ、子ども達に論理的な思考を培うことはできませんので、お互い自分の学校ではこういう問題を作ったと持ち寄って、更に、このような観点で学力Bに竿を指すような問題を作ったらどうですかと各先生にお配りすることができるものが作ればと考えています。</p> <p>教育委員会がこうなさいというより、各先生方が持ち寄って、アイデアを出し合って、こういう方向で行こうというのを各中学校の先生方で考えていただくことを主にやっていただきたいと考えています。</p>
江口職務代理	<p>その辺りを理解された上で問題は作られているということですか。</p>
首席指導官	<p>現在、それができている学校とできていない学校があることから調査研究を行っていきたいと考えています。</p>
江口職務代理	<p>学校における格差があることがテスト問題の作成等においても影響が出て差が出ているのだと思います。それはテストでしか判断できないと思います。</p>

	<p>そういう面で、柳川市独自の特色を活かした試験で、同じ問題を1回作って、学校の進捗状況や生徒の理解度を把握することもあってもいいのかと思いました。</p>
田中義隆委員	<p>まず、現在各中学校の定期考査においてどのような問題を出してあるか把握はしてありますか。</p> <p>中学校の定期考査については、先生によっては教育の流れとは全然違うような問題を出される機会もあると思います。そのため、現状のチェックと今後の方向性、そして先生方の理解度を把握するためのものかと思っていました。中学校においては、教科の先生によって問題の意識や作り方に差があると思います。そこを教育委員会が臨む方向性の問題の作り方に導くのが重要ではないかと思います。</p>
教育長	<p>まず、最初の質問の各中学校の定期考査の問題内容を把握はしてありますか。</p>
首席指導官	<p>現在のところ、どの先生がどのような問題を出しているかは教育委員会が全問題を集めているわけでありませんので把握はしていません。</p> <p>繰り返しになりますが、今の公立学校の入試の問題は、ただ単に回答を問うような問題では通用しなくなっています。論理的に筋道を立てて、理由や根拠を基に、自分の考えを何字以内書きなさいとか、資料を基に読み取ることをいくつかの観点から述べなさいというような問題に変わってきています。</p> <p>そういう問題を高校入試の時や、先日あった全国学力実態調査の時にやらせても中々解けないので、日頃の授業からそういう観点を取り入れてもらい、定期考査においてこういう問題を作っていますなどプロジェクトにおいて研究してもらえればと考えています。</p>
瀬戸口委員	<p>教育研究所の方でこういう問題を作って欲しいということを提示されて、先生方にどういう形で下ろされる予定ですか。</p>
首席指導官	<p>出口の部分については、この問題を出して下さいと指し示すことはないと思います。</p> <p>根拠を基に、自分の考えを論理的にきちんと述べるというような問題づくりを例題を示しながら、このように作ったらどうですかというところまでだと考えています。</p>



教育長	<p>あくまで前提論になりますが、授業・テスト関係、特にテストは評価になりますので、校長先生に委ねられます。教育課程の実施管理下での評価の部分になりますので、校長先生がそうになっているかチェックしなければなりません。</p> <p>現在、先程から説明しておりますが、大学入試が変わっている、高校入試が変わっている。このような中、定期考査の中間・期末についても変わらなければならないのではないかとということです。校長先生がこの流れを受けてきちんと見ましようというのが筋になります。</p> <p>教育委員会はこれに対し、支援・指導はできますが、最終的に校長先生の判断になりますので、教育委員会としてここに掲げて、プロジェクトとして最終的にモデルを示すかもしれません、これでしなさいということとは出来ないところです。</p> <p>中学校の授業改善に当たって、授業評価など実施してきましたが、中々ささらないことから、やはり高校入試に繋がるテストに竿をさしたら授業も変わって効果が上がるのではと考えて、これを入れ込んでいます。</p>
田中麻子委員	<p>質の高い問題を作っていただくことで、授業改善するという目的があって、切磋琢磨していただく場を設けるということだと理解しました。</p>
教育長	<p>江口委員がおっしゃった統一的な問題には今のところならないと考えています。しかし、結果的に6校の先生がこれは良い問題だとなれば入ってくることにはなると思っています。そういうものをプロジェクトの中で作って提供していきたいと考えています。</p>
田中麻子委員	<p>先程、定期考査の問題の検討で、授業の質の改善を図られていかれるのはよく分かりました。中学校の場合、共通実践項目の1行目にある教育課程の量的管理については、各学校において、学校行事などで授業時間等が変わることからですか。</p>
首席指導官	<p>各学校が独自の学校行事や部活動等により授業数が確保できないということがないように、授業時間については、しっかりと量の確保することがまず大事です、量の保障がなくして質の保障はないということでしっかりと、各教科授業時数は決まっておりますので、そこはきちんと担保することが必要であると考えています。</p> <p>それをやった上でしっかりと質の向上につなげていければと考え</p>

	<p>ています。</p>
教育長	<p>中学校については、まずは量から入って行って、量をきちんと担保させよう。よかったらプラス配当して補充をしっかりとやってもらいたいと考えています。</p> <p>小学校については、量から質の方に来ており、質の方を上げようと考えており、それぞれ教育課程の質的管理、量的管理としているところです。</p>
首席指導官	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度の小・中学校卒業生の進路先について (説明)</li> </ul> <p>(質疑特になし)</p>
首席指導官	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度生徒指導結果について (説明)</li> </ul> <p>(質疑特になし)</p>
主任指導主事	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度柳川市教育委員会学校訪問日程について (説明)</li> </ul> <p>(質疑特になし)</p>
教育長	<p>次に生涯学習課に移ります。</p>
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度コミュニティ施設などの利用状況について</li> <li>柳川市スポーツ推進委員の委嘱について (説明)</li> </ul> <p>(質疑特になし)</p>
教育長	<p>次に図書館に移ります。</p>
図書館長	<p>雑誌リサイクルデーの開催について、 春の図書館行事について</p>

	<p>(説明)</p> <p>(質疑特になし)</p> <p>全体を通して何かご意見・ご質問はありますか。 ないようですので以上をもちまして、平成30年第6回柳川市教育委員会定例会を閉会します。お疲れ様でした。</p>
次回予定	次回教育委員会定例会 5月24日(木) 9時30分開催決定

(署名)

教育長 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_